

ダニ対策をしてミツバチを守りましょう！

養蜂最大の敵と言っても過言ではないダニ。その中でもバロア症を引き起こすことで知られるミツバチヘギイタダニの対策は特に重要です。ダニ対策をしっかりとって、蜜蜂を守りましょう！

ミツバチヘギイタダニとは・・・

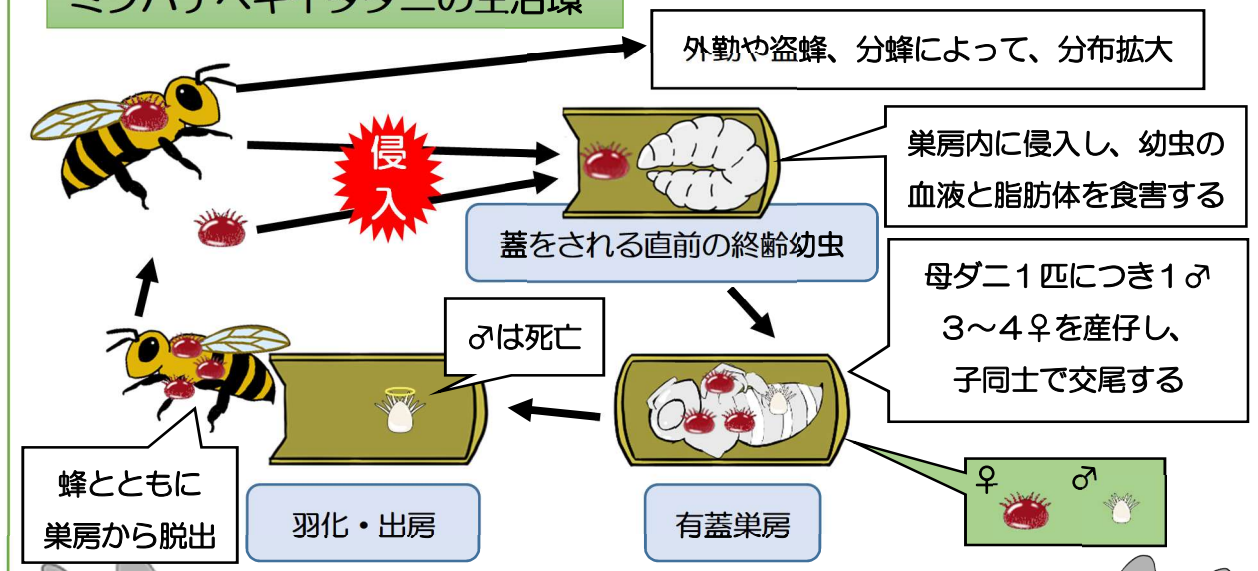
ミツバチの表面に寄生し体液を吸汁する、長さ1mm、幅2mmほどの扁平な楕円形をした赤色～赤褐色のダニです。成虫（働き蜂・雄蜂）に寄生した状態か、幼虫または蛹に寄生した状態で見つかります。



ダニが寄生すると・・・

ダニの食害の他、チチレバネウイルスなどを媒介して感染症を引き起こします。症状としては、蜂の弱体化、羽根に奇形のある蜂の増加、幼虫や蛹の死亡などが見られ、重症化すると蜂群を崩壊させてしまいます。これらミツバチヘギイタダニの寄生によって起こる一連の症状をまとめてバロア症と呼びます。

ミツバチヘギイタダニの生活環



神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL 0463-58-0152 FAX 0463-58-5679



粉糖法（シュガーロール）でダニの寄生率を調べましょう

【用意するもの】

- 粉糖（製菓用のアイシングシュガーで、コーンスターチ等を添加していないもの。給餌用の白砂糖は使えません）
- アミ蓋付き計量ビン（以下、容器：図参照）



広口ビンの蓋を切り抜き、鉢底ネットを付けて自作

【方法】

- 蜜蜂をトレイ等にふるい落とし、200匹を容器に入れ、蓋をします。
- アミの上から粉糖を大さじ2杯（蜂100匹に大さじ1杯）入れます。
- アミから粉糖が漏れないように押さえながら20～30秒間ゆっくりと容器の転倒を繰り返します。この時、蜂の腹側にも満遍なく、粉砂糖が付着するようにしましょう。
- 1分ほど待つとダニが蜂から分離するので、蓋を下にして容器を1分間軽く振りながら粉糖とダニをトレイ等に落とします。
- 落下したダニを数えて寄生率を算出します。この時、ダニはよく動くので注意しましょう。

【200匹の蜜蜂を検査した時の計算式】

蜂児が無い場合・・・落下ダニ数 × 1.1 ÷ 2 = 寄生率（%）

蜂児がある場合・・・落下ダニ数 × 1.1 = 寄生率（%）

検査結果と影響レベル（蜜蜂1匹あたりのダニの匹数）

冬季	0.12匹/蜂	:	越冬失敗率上昇
冬季	0.25匹/蜂	:	蜂群壊滅レベル
秋季	0.03匹/蜂	:	即防除レベル
春季	0.003匹/蜂	:	8月までに防除実施
春季	0.25匹/蜂	:	即時採蜜、即時防除

防除方法について

肉眼でダニを確認してからでは手遅れになる場合がありますので、上記の方法で定期的に確認することをお勧めします。

防除方法については、薬剤の他、ダニが雄の蜂児に好んで寄生する特性を利用して、雄用巣礎枠を利用する方法などがあります。

動物用医薬品としては、アミトラズ（アピバル）とフルバリネート（アピスタン）、チモール（チモバル）がありますが、採蜜期に使用できず、また、これらを用いる場合であっても効果は100%ではなく、根絶は非常に困難なので、寄生率を低く保つことが重要となります。